

最近の昇降機技術

Higher Quality and More User-Friendly Elevators and Escalators

巻頭言

飛躍し続ける昇降機

Continuous Innovation of Elevators and Escalators

昇降機は、建築技術の発達とともに、日常生活のなかで欠かせない乗物として着実に定着しています。一方、近年の事故や災害の影響から、社会全体が安全、安心に対する関心の高まりを見せているなか、一昨年（2019年）の千葉県北西部地震では、関東を中心に多くのエレベーターが停止し、一部ではその中に乗客が閉じ込められるなどの事故が発生しました。また、耐震強度の問題や、昨年の痛ましいエレベーター挟まれ事故なども記憶に新しいところで、昇降機業界はより高いレベルの危機管理能力を求められるようになってきました。

このような状況を踏まえ、地震による閉じ込め事故を減少させるため、エレベーターが停止後、自動で安全を確認したうえで早期に運転を再開させるなど、より安全なエレベーターの実現を目指して、国土交通省の指導のもと業界を挙げて規格作りとそれを守る仕組み作りを進めています。東芝エレベータ（株）も、大規模地震の場合にも安全・安心を確保できるよう、地震時対応復旧運転システムを開発しました。

当社はこれまで、安全面に配慮しながら、老若男女を問わず使える利便性の高い快適な昇降機を目指して、ユニバーサルデザインを積極的に導入してきました。例えば昨年発売したSPACEL-EX™では、混雑時の乗降に配慮した降車お知らせボタンなど、「こんなものがあれば」というお客さまからの要望を随所に取り入れており、好評を博しています。

このように、安全性と快適性を追求した製品を提供し続けることで利用者との信頼関係を構築するとともに、TAIPEI101に納入した世界最高速エレベーター（1,010 m/分）をはじめとする時代のニーズに沿った最新技術を展開することで、当社の昇降機が安全・安心で快適な社会と生活に貢献でき、更なるグローバル社会への広がりをも見据えたイノベーションの原動力となることが期待されます。

この特集では、安全・安心と快適をコンセプトとした製品開発の一端を紹介させていただきます。



原田 豊
HARADA Yutaka